

仕 様 書

- 1 件名
令和7年度危険物施設保守管理業務の請負
- 2 業務内容
消防法に基づく危険物施設取扱者として選任し、別紙作業内容に係る業務を実施する。
- 3 請負期間
令和7年4月1日（火）から令和8年3月31日（火）までとする。
- 4 建築物名称及び所在地
四国総合通信局庁舎
愛媛県松山市味酒町2丁目14-4
- 5 担当部署
四国総合通信局 総務課財務室 資材係（以下「主管室」という。）
電話番号：089-936-5026
メールアドレス：shikoku-shizai@ml.soumu.go.jp
- 6 その他
 - (1) 守秘義務
業務の従事に関して知り得た秘密を漏らし、または、自らの目的に使用してはならない。
 - (2) 疑義等
本仕様書に定めのない事項につき、疑義を生じた場合は、主管室まで照会すること。

作業内容

(1) 法定に定められた『定期点検記録表』に基づく危険物施設年 1 回の巡回点検。

① 別記 1-1 製造所等定期点検記録表(積載式移動タンク貯蔵所を除く。)の記入作業。

※保存期間 3 年

② 別記 5 地下タンク貯蔵所点検表の点検項目を目視及び測定機器を利用し点検作業を実施する。

※点検結果を点検表に記入し、製造所等点検記録表と合わせて原本を提出する。

※不良個所が有る場合は、速やかに施設管理者に報告する。

※点検表内のタンク本体及び埋設油配管漏洩の有無については、地下貯蔵タンクの漏れの点検に係る運用上の指針について(平成 16 年 3 月 18 日消防危第 33 号)により点検する事とし、本危険物施設の巡回点検では実施しない。

(完成検査後、3 年 1 回の地下タンク外殻検査及び圧力検査を別費用にて実施する事)

(2) 地下タンク荷卸し後の在庫確認作業。

① (3) 地下タンク在庫数量と荷卸し前の地下タンク実在庫量の確認作業。

② ローリーのタンク在庫の確認作業。

③ 荷卸し後の地下タンク実在庫の確認作業。

④ 荷卸し後の計算在庫と実在庫誤差有無の確認作業

⑤ 在庫状況を別紙：地下タンク在庫点検表に記入する。

(3) 発電機点検後の、地下タンク及びサービスタンク在庫確認作業。

① 発電機点検作業後の地下タンク及びサービスタンクの在庫量を確認し発電機に使用した、燃料油の確認を行う。

② 上記(2)－⑤の地下タンク在庫点検表を用いて、計量機出荷量の欄に発電機の使用燃料油量を記入する。

③ 上記(2)－⑤の地下タンク在庫点検表を用いて、地下タンクの在庫量を記入する。

別記 1－1

製造所等定期点検記録表（積載式移動タンク貯蔵所を除く。）

事業所名								
所在地								
点検対象	製造所等の区分							
	設置許可 年月日・番号	年	月	日				
		第		号				
	完成検査年月日	年	月	日				
	施設名又は 呼称番号							
点検実施者	危険物取扱者	所	属					
		氏	名	印				
		免状の区分		免状番号				
	危険物施設保安員	所	属					
		氏	名	印				
		上記以外の者	会	社	名			
	所		属					
	氏		名	印				
	立会危険物 取扱者	所	属					
		氏	名	印				
		免状の区分		免状番号				
	点検年月日	年	月	日	保存期限	年	月	日

別記 5

地下タンク貯蔵所点検表

点検項目		点検内容	点検方法	点検結果	措置年月日 及び措置内容
上部スラブ		亀裂、崩没、不等沈下の有無	目視		
タンク本体		漏洩の有無	*注 1		
通気管等	通気管	固定状況の適否	目視		
		腐食、損傷の有無	目視		
		引火防止網の脱落、目づまり等の有無	目視		
	安全装置	腐食、損傷の有無	目視		
		作動状況	取外し等による機能試験		
	可燃性蒸気回収弁	損傷の有無	目視		
計測装置	液量自動表示装置	損傷の有無	目視		
		作動状況及び指示の適否	目視		
	圧力計	損傷の有無	目視		
		取付部のゆるみ等の有無	目視		
		指示状況	目視		
	計量口	蓋の閉鎖状況	目視		
		変形、損傷の有無	目視		
漏えい検査管		変形、損傷、土砂等の堆積の有無	*注 2		
漏えい検知装置 (二重殻タンク)		損傷の有無	目視		
		警報装置の機能の適否	作動確認		
注入口		変形、損傷の有無	目視		
		設地電極損傷の有無	目視		
		設地抵抗値の適否	設地抵抗計による測定		
注入口ピット		亀裂、損傷、滯油、滯水、土砂等の堆積の有無	目視		
配管	配管	漏えいの有無	*注 1		
		変形、損傷の有無	目視		

・ バルブ等		塗装状況及び腐食の有無	目視		
		固定の適否	目視		
	点検ボックス	亀裂、損傷、滯油、滯水、土砂等の堆積の有無	目視		
	バルブ	漏えい、損傷等の有無	目視		
		開閉機能の適否	目視		
	電気防食設備	端子箱の損傷、土砂等の堆積、端子のゆるみ等の有無	目視		
		防食電位（電流）の適否	電位計による測定		
ポンプ設備	ポンプ	漏えいの有無	目視		
		変形、損傷の有無	目視		
		異音、異常振動、異常発熱の有	目視		
		塗装状況及び腐食の有無	目視		
		固定ボルトの腐食及びゆるみ等の有無	目視又はハンマーテスト等による。		
	ポンプアース	断線の有無	目視		
		取付部のゆるみ等の有無	目視		
		設地抵抗値の適否	設地抵抗計による測定		
	囲い、床、ためます、油分離装置	亀裂、損傷等の有無	目視		
		滯油、滯水、土砂等の堆積の有無	目視		
	建家及び付属設備	屋根、壁、床、防火戸等の亀裂、損傷等の有無	目視		
		換気・排出設備等の損傷の有無及び機能の適否	目視及び作動確認		
		照明設備の損傷の有無	目視		
	電気設備	配線及び機器の損傷の有無	目視		
		機能の適否	作動確認		
	標識、掲示板	取付状況、記載事項の適否及び損傷、汚損の有無	目視		
	消火器	位置、設置数、外観	目視		

	的機能の適否			
警報設備	損傷の有無	目視		
	機能の適否	作動確認		
その他				

注 1 地下タンクの本体及び地下埋設配管の漏えいの有無については、「地下貯蔵タンク等及び移動タンク貯蔵所の漏れの点検に係る運用上の指針について（平成 16 年 3 月 18 日消防危第 33 号）」により点検すること。

注 2 検査棒等により確認するとともに、併せて漏えい危険物の有無についても確認すること。

地下タンク在庫と漏えい検査管点検表

タンクNo.		油種		タンク容量	L	記録責任者	
--------	--	----	--	-------	---	-------	--

年

月

日	曜日	検査管 の 点検	営業前 の在庫 数量	ローリー からの 受入数量	軽量機 からの 販売数量	計算 在庫量	営業終了 後の 実在庫量	本日 の 増減	軽量機 からの 販売累計	増減量 の 累計	累計 増減率
		<注>	A	B	C	D	E	F	G	H	I
						A+B-C		E-D	前日のG+C	前日のH+F	(H÷G) %
1	月										
2	火										
3	水										
4	木										
5	金										
6	土										
7	日										
8	月										
9	火										
10	水										
11	木										
12	金										
13	土										
14	日										
15	月										
16	火										
17	水										
18	木										
19	金										
20	土										
21	日										
22	月										
23	火										
24	水										
25	木										
26	金										
27	土										
28	日										
29	月										
30	火										
31	水										
月合計				0	0						

※ 各累計の数字は、原則毎日計算する。1週間に1回の累計の計算を行う場合は、毎週決まった曜日に行う。

<注> 漏えい検査管の点検は、1週間に1回以上の点検を行い、異常の有無を記録すること。